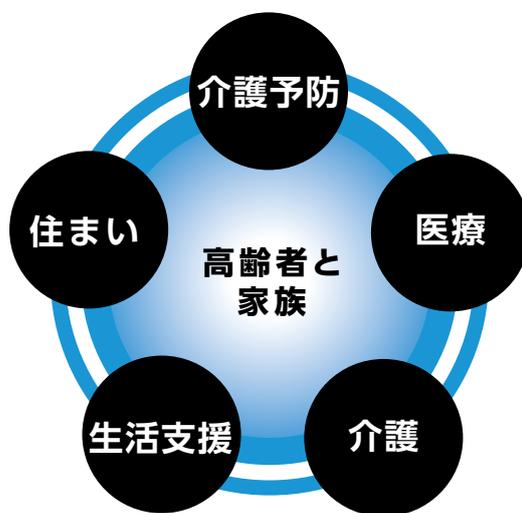


地域包括支援センターは、  
地域の高齢者や家族等が抱える  
様々な問題を発掘・整理し、地域住民や地域組織団体、  
医療機関、サービス事業者などと連携して、支援を行う  
地域包括ケアシステムの調整役です



いつまでも暮らしやすい地域を目指して

## 地域包括ケアシステム



**地域包括ケアシステムとは**  
日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65歳以上の人口は、平成29年10月1日時点で、3515万人、総人口に占める65歳以上の割合は27.7%であり今後も増加が予測されます。特に、団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は医療や介護の需要は一層高まるものと見込まれています。そこで、国は、高齢になっても可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、「介護予防・医療・介護・生活支援・住まい」を一体的かつ継続的に提供する

る仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築に乗り出しました。地域包括ケアシステムは市町村ごと行政だけでなく、地域住民、ボランティア、医療・介護・福祉関係者など地域の力を結集し、高齢者の日常生活を支えていくシステムです。町は、住み慣れた地域で元気なときも、介護が必要となっても、生きがいや役割をもって生活できる地域の実現を目指しています。

▼**特集に関する問合せ** 地域包括支援センター  
☎ 28・0932

地域包括ケアシステムの分野ごとの町の取組をご説明します。

### 1. 介護予防

- ・介護予防教室・サロン等の開催
- ・生きがいや社会参加を促す「介護支援ボランティアポイント事業」
- ・地域の交流と介護予防を支援する「住民主体サロン活動支援事業」
- ・ケーブルテレビ（11ch）で健康長寿に関する情報をお届けする「名古屋大学健康長寿シリーズ」放送 など



### 2. 医療

- ・在宅医療の普及講演会の開催
- ・在宅医療に関する相談対応
- ・医療・介護関係者の連携支援
- ・在宅医療サポートセンターの設置 など

### 3. 介護

- ・認知症施策の充実  
認知症に関する支援チームの派遣（認知症初期集中支援チーム）、おかえりネット（メール配信による徘徊者の検索・情報提供依頼）、認知症サポーター養成講座 など
- ・介護サービスの充実 など

### 4. 生活支援

- ・住民のニーズ把握
- ・孤立化予防、生活支援の充実について協議体（会議）で住民と一緒に検討 など

### 5. 住まい

- ・住宅環境の整備
- ・住みやすい地域づくり など

